

**埼玉県立文書館 令和7年度企画展**  
**「戦国乱世の終焉と泰平の世ー豊臣軍がやってきた！ヤアヤア**  
**ヤア！！！！ー」を開催します**

県立文書館では、1月31日（土曜日）から4月26日（日曜日）まで、企画展「戦国乱世の終焉と泰平の世ー豊臣軍がやってきた！ヤアヤアヤア！！！！ー」を開催します。

天正18年(1590)、関東に権勢を誇った小田原北条氏は、豊臣秀吉の攻撃を受けて滅亡しました。その後、徳川家康の江戸入城によって関東は新たな時代を迎えることとなりました。

本展覧会では、戦国時代末から江戸時代初期の埼玉県地域を取り巻く情勢を収蔵資料から紹介します。

## 1 展示概要

- (1)会 期 令和8年1月31日（土曜日）から4月26日（日曜日）まで
- (2)会 場 県立文書館（さいたま市浦和区高砂 4-3-18）
- (3)休 館 日 毎週月曜日  
国民の祝日（2月11日(水曜日)、23日(月曜日)、3月20日(金曜日)）、月末休館日(3月31日(火曜日))
- (4)開館時間 午前9時から午後5時まで
- (5)観 覧 料 無料
- (6)交通案内 JR浦和駅西口下車徒歩15分、JR中浦和駅下車徒歩18分

## 2 展示構成

### はじめにー信長と秀吉ー

戦国大名が割拠し、国衆らが戦乱をくり広げる戦国時代後期において、天下統一の途を進む織田信長の勢力は、武蔵国を含む関東にも及びました。この統一事業は、信長の死後、豊臣秀吉に引き継がれることとなります。本展覧会のプロローグとして、西角井家文書の諸国寺社朱印状\*のうち、同じ寺院(山城国愛宕郡曼殊院)に宛てられた信長と秀吉の発給文書<sup>はつきゅうもんじょ</sup>を紹介します。

＊諸国寺社朱印状とは・・・明治政府の命令により日本全国の寺院・社寺から提出された旧幕府判物きゅうばくふはんもつのこと。大部分は鋭利な刃物で切断され、朱印が墨で消されています。

#### 【主な史料】

織田信長印判状(西角井家文書 6438)[さいたま市指定文化財]

豊臣秀吉印判状(西角井家文書 6439)[さいたま市指定文化財]

### 1. 統一政権と武蔵国

天正 10 年(1582)、織田信長によって甲斐武田氏が滅亡しました。これに伴い、武田氏旧領くにわけきょうていの国分協定が行われました。武蔵国は小田原北条氏の領国として確立するものの、隣接する上野国(群馬県)、信濃国(長野県)、甲斐国(山梨県)は織田領国となり、これによって武蔵国北部は北条氏と織田氏との権力の境目となりました。本章では、織田・豊臣両氏によって天下統一が図られていく情勢のなかに、北条氏の領国とされた武蔵国の動向を位置づけます。

#### 【主な史料】

北条氏邦検地書出(持田(英)家文書 6)[埼玉県指定文化財]

豊臣秀吉朱印状(井原家(萩藩毛利家家中)文書 1)

### 2. 秀吉の小田原攻め

天正 18 年(1590)、豊臣秀吉は北条氏の本拠小田原城を攻めました。日本海側からは前田利家・上杉景勝まえだとしいえ うえすぎかげかつらの東山道軍が碓氷峠を越えて関東に侵攻する一方、小田原を包囲した東海道軍から編成された浅野長吉・木村常陸介あさのながよし きむらひたちのすけらの軍勢が武蔵国を席卷します。戦禍にさらされた武蔵国の情勢と豊臣政権による戦後処理の様子を収蔵資料から読み解きます。

#### 【主な史料】

豊臣秀吉朱印状(埼玉県立文書館収集文書 127(平岩文書 2))[埼玉県指定文化財]

豊臣秀吉禁制(浦和宿本陣文書 2)[さいたま市指定文化財]

### 3. 家康の関東入部

小田原北条氏滅亡後、徳川家康が関東に入部したことで、関東の戦国乱世は終焉を迎えました。それまでの社会構造を踏襲しつつ、新たな支配構造が構築されていきます。本章では、豊臣政権の動向と“豊臣大名”としての家康かんはつしゅうの関八州支配、特に検地や既得権の保障などに焦点を当てます。

#### 【主な史料】

武州足立郡柴岡郷内三室村御繩打水帳<sup>おなわうちみずちょう</sup>（武笠家(神主)文書 304）[さいたま市指定文化財]※天正 19 年(1591)検地

武州榛沢郡鉢形領之内荒川御繩打水帳<sup>おなわうちみずちょう</sup>（持田(英)家文書 24）[埼玉県指定文化財]

※文禄 4 年(1595)検地

武州秩父郡野巻村御地詰帳<sup>おんじづめちょう</sup>(逸見家文書 11)[埼玉県指定文化財]

※慶長 3 年(1598)検地

#### 4. 江戸開幕

慶長 8 年(1603)、徳川家康は征夷大將軍に任じられました。正式に全国を統治する権利を獲得し、ここに江戸幕府が誕生しました。その後、大きな混乱なく二代秀忠、三代家光へと將軍職が引き継がれ、政權を世襲していくことが世に示されました。“天下人”となった徳川將軍家により、新たな秩序の構築が進められ、“泰平の世”の基盤が整えられていった様子を、収蔵資料から紹介します。

##### 【主な史料】

徳川家康関東新義真言宗法度(明星院文書 10)[埼玉県指定文化財]

徳川秀忠朱印状(稲生家文書 1290)[埼玉県指定文化財]

#### おわりにー史実と偶像ー

現代に至るまでの歴史の流れのなかで、歴史上の人物は時に神格化され、また時に英雄視されました。それは、時代の為政者の意図や社会的背景によるところが大きく影響します。エピローグとして近世以降に豊臣秀吉を取り上げた資料を紹介し、本展覧会の展示内容と照らし合わせることで、資料から得られる史実と脚色された偶像の違いを見つめ直します。

##### 【主な史料】

「絵本太閤記初篇」（東家文書 271～274）

「講談社の絵本 豊臣秀吉」（川田氏収集文書 5394）

#### 特集展示 城絵図の世界

小室家文書等に含まれる城絵図を、埼玉県航空写真を始めとする館蔵地図資料と比較しながら紹介します。

##### 【主な史料】

武蔵鉢形城絵図(新田家文書 1)

古城跡近傍図(松山城)(小室家文書 747)[埼玉県指定文化財]

### **3 関連行事**

#### (1) 展示資料解説会

ア 日時

第1回 令和8年2月12日(木曜日) 10:30～11:00

第2回 令和8年3月10日(火曜日) 10:30～11:00

第3回 令和8年4月18日(土曜日) 10:30～11:00 ※3回とも同内容。

イ 会場 県立文書館3階 講座室1・2

※展示室での解説は行わず、講座室での資料解説後、自由見学とします。

ウ 講師 当館学芸員

エ 定員 各80名(先着)

オ その他 参加費無料、事前申込不要

#### (2) 文書館フィールドワーク

ア 日時 令和8年3月8日(日曜日) 12:30～16:30(予定)

イ 会場 行田市内

ウ 講師 当館学芸員

エ 定員 20名(定員を超えた場合は抽選)

オ その他 保険加入料他(実費)